

町民の生活利便性・来訪者の移動利便性の向上を目的に、地域公共交通網全体の検索・予約システム作成及びオンデマンド乗合交通の配車のAI化を行い、地域公共交通のニーズ把握とKPI向上を図る。

【協議会の構成(地域公共交通会議の部会として)】

菰野町、町内全公共交通運行事業者(右参照)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県地域連携部交通政策課、名古屋大学大学院環境学研究科

【地域の交通課題】

- 人口約4万人。集落が分散し公共交通不便地域広がる
- 低頻度多路線のコミュニティバス運行効率化ときめ細かな公共交通サービス実現を両立すべく、平成30年10月から南部エリアでオンデマンド乗合タクシー試行運行開始。利用は増加中
- 利便性が高いサービスとするため、鉄道・バスとオンデマンド乗合交通タクシーの円滑な結節が必須。網全体のシームレス検索・予約サービス導入が大前提
- オンデマンド乗合交通の効率化と利便性向上を図るため、予約・配車システムの見直しが必要

【本格的な導入に向けた検証項目、目標値】

- 町内全公共交通機関をカバーする検索システム、オンデマンド乗合交通の予約・配車システムの導入による、運行効率性や利用者利便性の向上を検証
 - 検索システム・予約システムへのアクセス数(200アクセス/月)
 - 予約システムの利用率(利用者全体の10%)
 - オンデマンド乗合交通の利用者数(30人/月)

【実験内容】

(1) MaaSシステムの構築及び実証

- 対象交通手段: 町内を運行する全公共交通機関
(従来は全くバラバラに運行・案内。コミュニティバス～オンデマンド乗合交通、ロープウェイ～バス～鉄道の乗継がスムーズでないことが特に課題)



オンデマンド
乗合交通



コミュニティ
バス



一般・高速
路線バス
△三重交通▽



鉄道
△近畿日本鉄道▽



ロープウェイ
△御在所
ロープウェイ▽



タクシー
△尾高▽

- 検索: 出発地から目的地までの交通手段
- 予約: オンデマンド乗合交通が検索される場合、その予約システムへ遷移することで予約可能に
- 決済: 次年度以降、キャッシュレス決済システム構築とサブスクリプション設定を検討(今年度は現金での運用を想定)
- 言語: 5カ国語(日・英・ポルトガル・ハンガリー・簡体中国語)
※観光客/住民、日本人/外国人(住民も)、高齢者/それ以外(特に若年層)の各セグメントの利用喚起を念頭に、システム構築と普及を進める

(2) AI予約・配車システムによるオンデマンド乗合交通実証運行

- 対象地区: 菰野町内全域
(本実験に合わせ、現在の南部エリアのみ運行から、北部・中部エリアにも拡大予定)
- 対象者: 町民、および町への通勤・観光など訪問者